

近畿建設リサイクル表彰	奨励賞〔発生抑制・搬出抑制部門〕
受賞者	株式会社西山工務店 日高地区堤防整備工事
受賞テーマ	鋼製型枠利用による木くず発生ゼロ化

【取組概要】

盛土工 8,800m³、法面整形 3,260m²、地盤改良工 8,550m³、法覆護岸工 1 式、樋門工 1 式、水路工 1 式など。

①鋼製型枠利用による合板型枠（木くず）の発生ゼロ【Reduce】

全てのコンクリート構造物における型枠を合板型枠でなく鋼製型枠にすることで、本来発生する木くず（合板型枠）の排出量を削減した。

そこで、型枠工事を協力業者に発注する際、廃棄物抑制についての教育を実施し、理解を得て、当社より鋼製型枠を貸与し施工した。

結果、樋門工・水路工・付属物設置工のコンクリート打設における型枠材を鋼製型枠にて施工することで、木くず（合板型枠）の排出量を 1,787.1kg（型枠面積：263.2m²）削減できた。

また、合板型枠から鋼製型枠に変更することで、次のメリットがあった。

- ・合板型枠であると転用回数が 3 回程度であり、その後はリユース・リサイクルが極めて困難であることから焼却処分となる。また、型枠組立時に用いられる固定用杭、栈木等も含め、その多くが焼却処分となることから、CO₂排出量の発生、森林資源の枯渇や破壊を招く。その点、鋼製型枠は 30 回以上転用が可能であり、曲がり等使用できなくなっても金属くずとしてリサイクルが可能である。
- ・鋼製型枠を使用することでコンクリート剥離剤の使用量も少量（合板型枠：20L⇒鋼製型枠：12L）で済む。当作業所で使用するコンクリート剥離剤は生分解性水溶性コンクリート剥離剤を使用し、周辺環境への配慮も行っている。

【評価ポイント】

- ・樋門工・水路工・付属物設置工のコンクリート打設における型枠材を鋼製型枠にて施工（木くず発生ゼロ）
- ・西山工務店が所有する鋼製型枠を協力会社へ貸与
 ⇒中小企業では協力会社が所有する合板型枠を使用することが一般的
 ⇒定期的及び現場入場時に型枠組立業者へ取扱方法等の実技指導を実施



鋼製型枠工事近景